

今後の計画は？ 公園・健康遊具

石井 めぐみ 議員



しいの木公園（藤代南）

問 10月に南町会長、パトリール会長と公園設置の要望書を提出した。市の計画ではどうなっているか。
市長 来年度より地元の皆様と検討会を立ち上げて、26年度に整備を進めたい。
問 どのように進めるのか。
建設部長 以前整備した、しいの木公園は、計画段階から地元と協議した。また、できる工事はしていただきたい。このような形で協議会を立ち上げて進めたい。
問 健康遊具について、今後の設置計画と、ウエルネスプラザ内や他の公園への設置の考えは。
高齢福祉課長 毎年1カ所ずつ予算の状況を見ながら

設置する考えはある。公園整備と介護予防のタイアップ事業になるので、担当課で協議、選定をしていかなければと思う。
問 今後、健康志向の高くない高齢者に対し、健康なまちづくりへの働き掛けが必要になるが、市の考えは。
答 そのような気持ちのない方も参加するような施策を組まなければならぬ。今後、勉強していきたい。

とりでFMの効果と放送終了後について

吉田 宏 議員

問 臨時災害FMの市民の反応と放送実施後の効果は。
市長 臨時災害FMは、災害情報を正確かつ迅速に伝達する手段として、どのような効果があるのか。また、免許の範囲でどこまで活用できるのかを検証するもの。その中で、89・4メガヘルツに合わせる習慣付けはできた。市民の反応は、当初は消極的な意見が目立っていたが、今は激励を受けている。市外からも中身や工夫についての声は相当ある。狙いとした自助意識の啓発という効果は出ている。
問 災害情報に関連した放送内容という制約の中で、どのような工夫をしたのか。
総務部長 防災訓練の状況や健康福祉まつりなど、聞

子どもの健康を守るために

池田 慈 議員

いていたかどうかということ、工夫をしている。最近、南相馬市の方々の避難所生活について放送した。
問 1月末に放送が終了することは残念。今後の災害情報の提供手段は。
答 ツイッターやメールマガジンを活用してもらえようPRしたい。また、近隣のコミュニティFMと連携ができるのか研究していきたい。
問 原発事故子ども・被災者支援法が制定されたが、まだ支援対象地域も定まっていない。市が指定を受けることについての考えは。
健康福祉部長 復興庁に確認したところ、年度末には地域指定を行う予定という回答をいただいている。市としても、地域指定に向けて、なるべく早くしていたいく姿勢で臨んでいる。
問 福島第一原発事故から1年8か月以上経つが、市民は健康への影響を不安に思っている。市は健康を守るため、どのような取り組みをしてきたか。
答 保健センターに相談窓口を開いた。近隣で検査を行っている所もあるが、常総4市で足並みをそろえて

医療費無料化の拡大を！

加増 充子 議員

対処している。一市町村で行うのではなく、もっと広い、県単位で疫学的なデータを集めた中で結果を求めないと分からないので、国に要望している。地域指定を受ければ、精度の高い健康調査ができるかと期待し、その方向で進めている。
問 小1・中1で心電図検査を行っているが、今年度の結果は、要管理者が22年度比3倍弱に増加。子どもたちの健康を守ることが、ウエルネス取手の実現に結びつく。毎年、全学年の心電図検査をすべきと考える。健康福祉部次長 放射線物質との因果関係に疑問。研究・勉強していきたい。
問 子どもの医療費無料化は、中学校卒業までが主流。近隣市町でも、小学校卒業まで、また中学校卒業まで実施している所がある。市は、今のまま続けるのか、もっと良くしたいと思っているのか。
市長 子どもを育てる皆さんが充実してほしい分野であることは痛感している。やりたいところではあるが、この先の施設の再編、行革の見直し、産業振興の面での見直しを立てながら、期

事務処理は適切？ ウエルネス・タウン

佐藤 清 議員

待に比べられるように頑張っている。
問 市の子育て世代が、この2年間で減少している。群馬県では、少子化が進んでいる状況を打開するため、中学校までの医療費を完全無料化した。子育て支援が一番にやることであり、若者が戻ってくることで、市が活性化される。もっと早く充実させる考えは持っているか。
健康福祉部長 財政状況を判断し、なるべく進めていきたい気持ちは持っている。財政状況を見ながら、子育てしやすい環境を整えていきたい。
問 自転車駐車場実施設計業務委託の内容に特記仕様書があり、その中に不動産鑑定業務が書いてあったが、都市整備部長 特記事項に自転車駐車場整備に関する基本方針・対応方策検討があり、その中に機種選定と基本設計がある。その基本設計の中で、仮換地指定の土地の不動産鑑定評価をお願いしている。
問 不動産鑑定は、今までは鑑定を必要とするのかを鮮明にするために不動産鑑定業務委託で（予算を）上

げている。適正な手続きで計上してほしい。
歩行者デッキ工事の入札を行ったが、市の名義でない土地に降り口を設計して発注したのは、どういうことか。
答 権利者から合意書を得たとき、入札を行っている。
問 自転車駐車場工事の入札が不調に終わった。予定価格より1億数千円も上回ることは、非常に問題がある。設計業者が間違った計算をしたのではないか。
副市長 現段階で計算ミスは見つかっていない。
問 設計の業務発注期間が、当初の計画では、昨年の9月から3月までだったが、今年の8月までかかった。どうしてか。
都市整備部次長 歩行者デッキの正確な高さなどの確定が必要だったことと、関東鉄道への進入に関する協議があり、時間を要した。